

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	尿路上皮癌における EphA2 発現の免疫組織学的研究
	研究目的	2001-2018 年当院で尿路上皮がん(膀胱がんまたは腎盂尿管がん)と診断された患者さんの手術検体を用いて、組織中の EphA2 というタンパク質の発現、プロセシングの有無と臨床情報との相関関係を調べます。統計学的に解析を行うことで、癌の進行や予後を予測する癌マーカーとして役立てられないか調査します。  本研究では 2001 年から 2018 年の間に当院で手術をし、尿路上皮がんと診断された患者さんを対象としております。全ての個人情報は匿名化された上で使用されますので、プライバシーは厳重に保護されますが、本研究に参加されたくない患者さんはお手数ですが当院泌尿器科までご連絡ください。
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 8 日 ~ 西暦 2021 年 5 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	泌尿器科 岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科・臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当せず